

2024年3月期第2四半期（累計）

（2023年4月1日～2023年9月30日）

決算参考資料

2023年11月13日



株式
会社

サガミホールディングス

東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2024年3月期第2四半期（累計）業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-8-
5. 売上高・営業利益の状況	-9-
6. 2024年3月期第2四半期（累計）のトピックス	-11-
7. 2024年3月期（累計）について	-16-

連結対象企業の事業内容



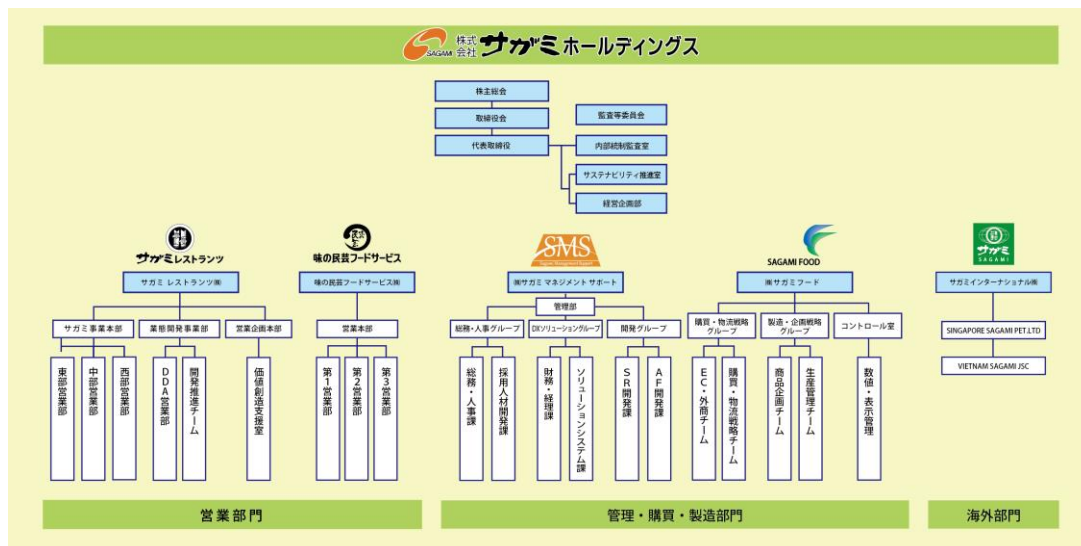
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,250,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	ベトナム国内における飲食店の経営

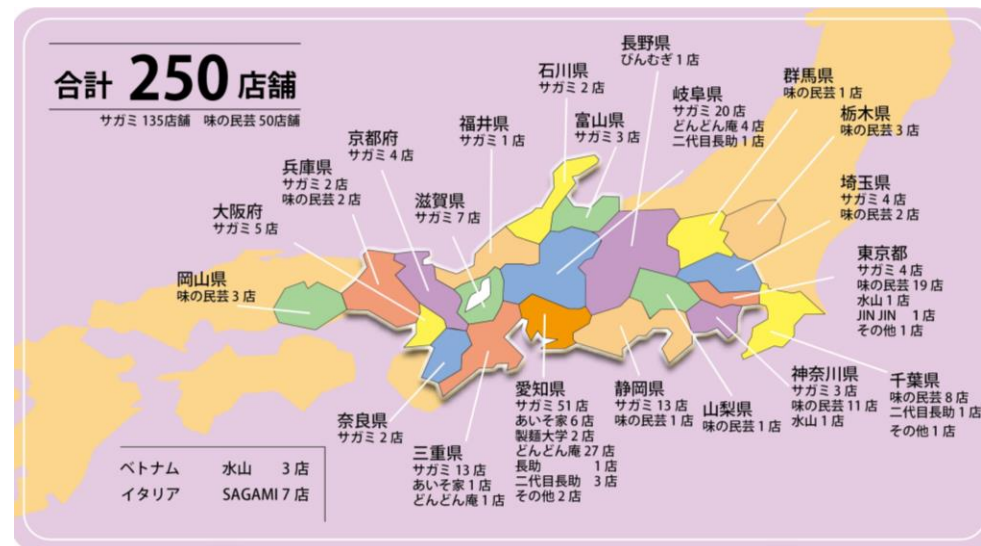
連結対象企業の事業内容



サガミグループ組織図



地域別店舗分布



- ◆ サガミレストランズ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、だんごん庵業態、あいそ家業態、長助業態を経営しております。
- ◆ 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- ◆ 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- ◆ 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- ◆ サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- ◆ SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

店舗展開の状況

	2023年 3月期	2024年3月期（計画）			2024年3月期 第2四半期		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	133	5	1	137	3	1	135
どんどん庵（FC店舗含む）	32	-	-	32	-	-	32
味の民芸（FC店舗含む）	51	-	1	50	-	1	50
団欒食堂あいそ家	8	-	-	8	-	1	7
長助・二代目長助	6	3	-	9	-	-	6
ぶぶか	1	-	-	1	-	-	1
その他国内店舗（FC店舗含む）	10	-	1	9	-	1	9
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 イタリア（FC店舗）	6	2	-	8	1	-	7
合計	250	10	3	257	4	4	250

◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2023年5月「川名店」、7月「安城桜井店」、
9月「東郷店」を開店いたしました。
2023年7月「越谷南店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期末の店舗数は135店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態
2023年6月「東大和店」を閉店いたしました。
これにより、当第2四半期末の店舗数はFC店舗を含め50店舗となりました。
- ◆ その他業態
2023年8月「Dela Pasta Kitchen 土岐店」を閉店いたしました。
業態変更に伴い、2023年8月「あいそ家 東郷店」を閉店いたしました。

海外店舗展開

- ◆ イタリア
2023年8月「SAGAMI Verona店」をFC店舗として開店いたしました。

以上により、2023年9月末のグループ店舗数は、
国内240店舗、海外10店舗の計250店舗であります。



2024年3月期第2四半期（累計）業績概況



連結ベースの経営成績

（単位：百万円／円）

	2023年3月期 第2四半期（累計）	当初計画 第2四半期（累計） （2023.5.12発表）	2024年3月期 第2四半期（累計）	計画差異
売上高	12,845	13,000	15,027	2,027
営業利益	665	500	930	430
経常利益	※ 1,323	510	970	460
当期純利益	※ 1,007	280	734	454
一株あたり 当期純利益	33.41	9.28	24.36	15.08

※ 営業時間短縮に伴う協力金等収入542百万円を含んでおります。

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円／％)	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期（累計）
総資産	24,156	24,296
純資産	15,936	16,576
自己資本比率	65.9	68.2

連結キャッシュフローの状況

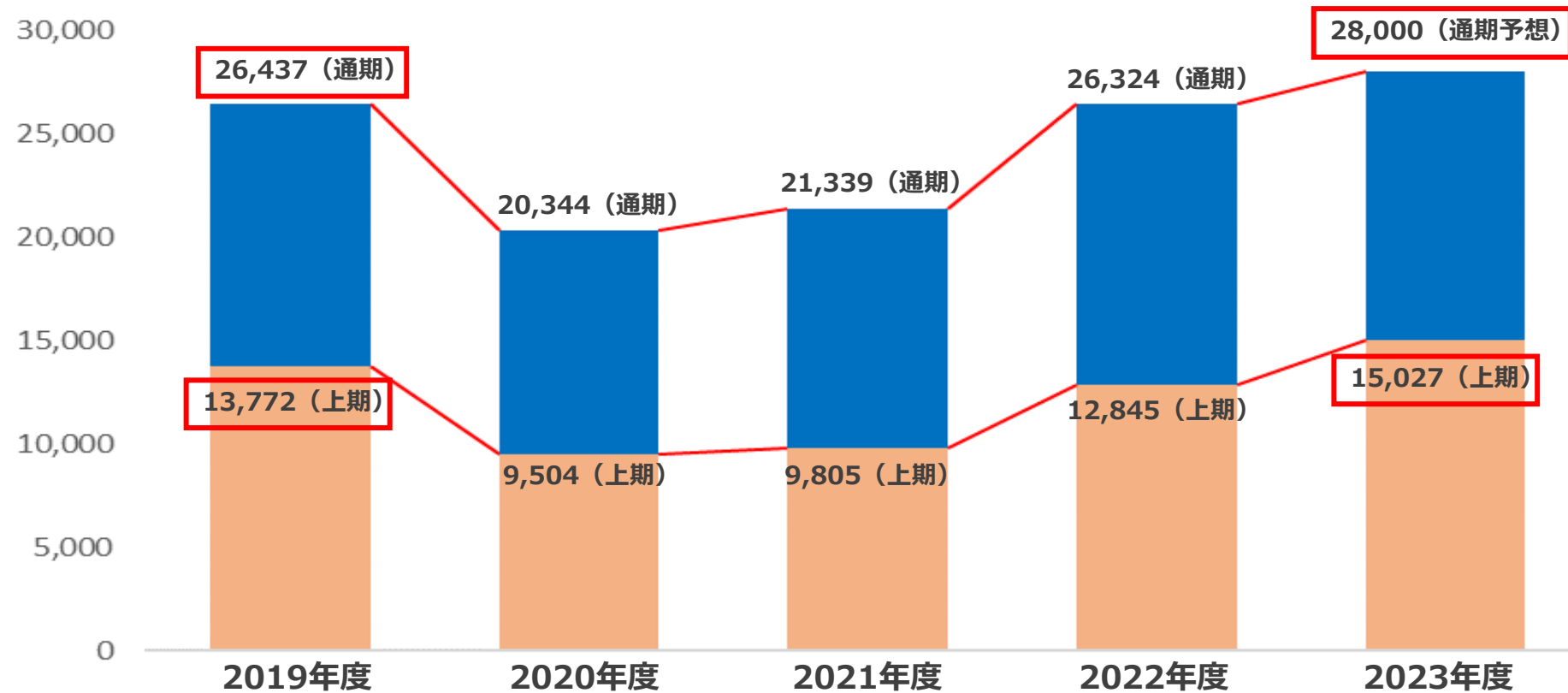
単位 (百万円)	2023年3月期 第2四半期（累計）	2024年3月期 第2四半期（累計）
営業活動によるキャッシュフロー	757	1,011
投資活動によるキャッシュフロー	△574	△700
財務活動によるキャッシュフロー	△662	△734

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は730百万円（2023年3月期第2四半期累計実績603百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は216百万円（2023年3月期第2四半期累計実績179百万円）となりました。

売上高・営業利益の状況

売上高の推移

売上高（単位：百万円）

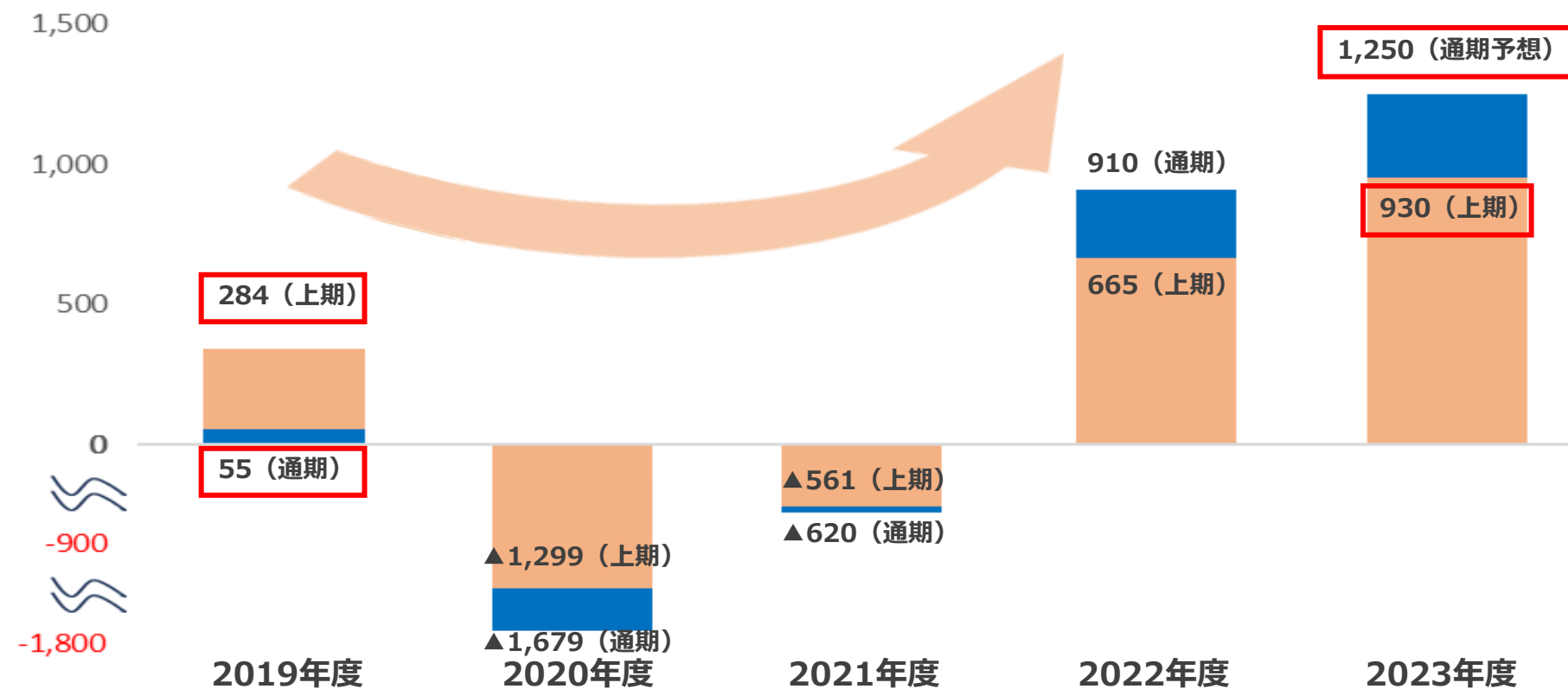


◆ コロナ禍前（2019年度）比：上期実績109.1%、通期予測105.9%

売上高・営業利益の状況

営業利益の推移

営業利益（単位：百万円）



◆ コロナ禍を経て生産性は大きく改善。今期通期予想は1,250百万円。

第2四半期（累計）のトピックス①



サガミホールディングス

◆ 特別配当の実施

新体制への移行、経営陣の若返りによって、今後、更なる企業価値の向上及び当社グループの持続的な発展への決意を示すとともに、日頃のご支援に対し感謝の意を表するため、
1株あたり5円の普通配当に加え、2円の特別配当を実施いたしました。

◆ 従業員還元

多様な人材の確保及び従業員の生活水準の向上を目的とした従業員還元の一環として、基本給のベースアップとともに業績貢献に対する特別賞与の支給を行いました。
引き続き、当社最大の経営資源である人財への投資を継続し、お客様への提供価値向上に向けて取り組んでまいります。

◆ 統合報告書2023発行

当社グループの企業活動の全体像、企業価値創造に向けた戦略や目標を総合的に紹介し、理解をより一層深めていただくことを目的として、サガミグループとして初めての統合報告書を発行いたしました。
ステークホルダーの皆様への情報発信媒体として活用するため、次年度以降も毎年発行する予定としております。

◆ サステナビリティ活動

持続可能な社会構築に貢献するため、気候変動対応を重要な経営課題と捉え、TCFD提言に準拠した情報開示及びCDP質問書への回答を行いました。



第2四半期（累計）のトピックス②

■ サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

◆ 新規出店

「和食麺処サガミ 川名店」（5月）、「和食麺処サガミ 安城桜井店」（7月）、
「和食麺処サガミ 東郷店」（9月）を出店いたしました。

第3四半期以降においても複数店舗の出店を計画しております。

◆ モーニング営業実施店舗の拡大

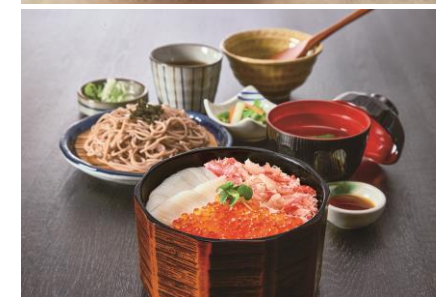
愛知県、岐阜県においては新規出店店舗を除き全店、
三重、静岡、関西、関東エリアにおいては一部店舗でモーニング営業を行っております。
2023年9月末時点で、合計82店舗にて営業しております。

◆ 冷凍自動販売機設置

お客様のニーズの変化に柔軟に対応するため、一部店舗において、
24時間購入可能な冷凍自動販売機を店舗前に設置いたしました。
現在、設置店舗を12店舗まで拡大しており、大変ご好評をいただいております。

◆ 全店販促企画の開催

期間中、「名古屋コーチン料理フェア」「真あなご料理フェア」「牛タン料理フェア」
「北海道味めぐりフェア」の計4回の料理フェアを開催いたしました。
多くのお客様にご好評いただいている季節に合わせた料理フェアを、今後も定期的を開催し、
サガミのおいしさを皆様へ届けてまいります。



第2四半期（累計）のトピックス③

サガミレストランツ（業態開発事業本部）

長助業態について

- ◆ 2021年10月の十割そば長助岩倉店の開店以降、セルフサービス形態を取り入れることによってリーズナブルな価格設定を実現しつつ、十割そば特有のそばの香りやのど越しを楽しんでいただくことで、お客様からご好評をいただいております。
- ◆ 長助業態は、東海地区を中心に展開し、2023年3月には関東に初進出いたしました。今後も出店を進め、2024年度末までに10店舗の店舗展開を目指します。

どんどん庵業態について

- ◆ 「自分好みを手軽に美味しく」をモットーに、うどん・そば・きしめんなどの各種麺類を取り揃えております。
自社製麺の強みを活かし、高品質な商品をコストを抑えて提供することができ、多くのお客様にご好評をいただいております。
- ◆ お客様の生活応援企画として、4月に「どんどん祭り」を実施いたしました。
また、期間限定メニューを月替わりで販売しております。



第2四半期（累計）のトピックス④

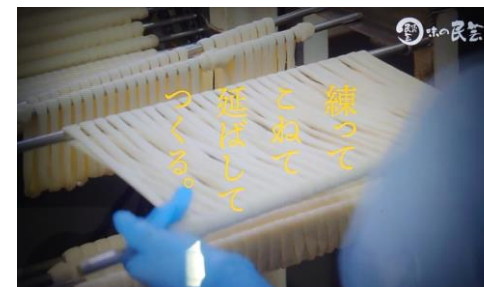
味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

- ◆ 認知度向上を目的に、4月に岡山地区・千葉地区において、手延べうどんの作成工程、美味しさの訴求、及び季節のおすすめメニューを告知するテレビCMを放映いたしました。
- ◆ お客様感謝企画として2023年6月及び7月に計6日間、「手延べうどん 食べ放題企画」を実施いたしました。また7月14日～28日の15日間、「夏のごちそうフェア」を開催いたしました。人気の手羽先及びアルコール商品のお値打ち価格での提供に加え、店内飲食及びテイクアウトで利用できる割引クーポンを配布いたしました。
- ◆ 2022年より販促ツールとして活用しているアプリケーションのLINEでは、9月末で会員数が18万人を超えました。今後も会員数の増加に向けて告知等を行ってまいります。

小型業態について

- ◆ 小型業態店舗では、インバウンドや国内旅行客が回復し、売上が好調に推移いたしました。びんむぎ酒々井店及び水山港南台バース店では8月の月間売上高が過去最高となりました。
- ◆ 2024年3月期下半期には都心部への新規出店を計画しております。



第2四半期（累計）のトピックス⑤



■ サガミインターナショナル

ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは「水山」業態を展開し、7月にベトナム進出7周年をむかえました。現在3店舗を営業し、現地の中間所得層を中心に多くのお客様にご来店いただいております。
- ◆ コロナ以降の経済回復も著しく、各店舗ともにコロナ禍以前の売上高を上回る推移となっております。
- ◆ ベトナム事業展開の強化に向け、フランチャイズでの店舗網拡大を視野に入れ、ベトナム国内におけるパートナーシップの構築を進めております。

イタリア事業について

- ◆ 2023年8月、ヴェネト州・ベローナ市の中心部に「SAGAMI Verona店」をFC店舗として出店いたしました。地域の方々から観光のお客様まで、幅広いお客様にご来店いただいております。この出店により、イタリアの店舗数は7店舗となりました。
- ◆ 既存店の売上高については好調を維持し、コロナ禍以前を上回る趨勢となっており、2018年11月にオープンした1号店の「SAGAMI Milano店」は現地通貨ベースで月間最高売上を更新いたしました。
- ◆ 現地スタッフの意見を積極的に取り入れ、スタッフ考案のレシピをメニュー化するなど、既存の枠にとらわれない施策で、お客様のご好評を得ております。引き続き、和食文化をイタリアのお客様へ届けられるよう、取り組みを継続してまいります。



2024年3月期（累計）について

連結ベースの業績予想

単位（百万円）	2023年3月期	当初計画 2024年3月期	計画（11.6発表） 2024年3月期
売上高	26,423	26,200	28,000
営業利益	910	800	1,250
経常利益	※ 1,574	820	1,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	※ 886	400	900

※ 2023年3月期は営業時間短縮に伴う協力金等収入566百万円を含んでおります。

2024年3月期について

◆ 売上高

売上高に対する新型コロナウイルス感染症影響は減少傾向であり、人流は引き続き上向き傾向と予想しております。
一方、消費動向としては物価上昇による生活防衛意識の高まり等が懸念されることから、2024年3月期下半期の売上高については前期水準並みになると予想しており、通期では増収を見込んでおります。

◆ 営業利益・当期純利益

各種コスト増など厳しい経営環境が続くことが予測されますが、粗利益率の改善及び生産性の向上により、営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については前期比増益を見込んでおります。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（１）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（２）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（３）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実績に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（４）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（５）ディスクロージャー ポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。